

平成 24 年 1 月 30 日

【照会先】

国立社会保障・人口問題研究所人口動向研究部

部長 金子隆一 第3室長 石井 太

(代表電話) 03 (5253) 1111 (内線 4470・4471)

(直通電話) 03 (3595) 2984

日本の将来推計人口(平成 24 年1月推計)

平成 72(2060)年の人口は 8,674 万人、65 歳以上人口割合は 39.9%

国立社会保障・人口問題研究所は、平成 22 年国勢調査の確定数が公表されたことを受けて、これを出発点とする新たな全国将来人口推計(日本の将来推計人口)を行いましたので、その結果を公表します。

日本の将来推計人口とは、全国の将来の出生、死亡、ならびに国際人口移動について仮定を設け、これらに基づいてわが国の将来の人口規模ならびに男女・年齢構成の推移について推計を行ったものです(対象は外国人を含めた日本に在住する総人口)。複数の仮定に基づく複数の推計によって将来の人口推移について一定幅の見通しを与えています。今回の推計では、平成 22(2010)年までの実績値をもとにして、平成 72(2060)年までの人口について推計しました(参考推計は平成 122(2110)年まで)。

【推計結果のポイント】

1 今後わが国では人口減少が進み、平成 72(2060)年の推計人口は 8,674 万人

・今後わが国の人口は減少する見通しであり、平成 22(2010)年国勢調査による 1 億 2,806 万人から、平成 42(2030)年に 1 億 1,662 万人となり、平成 60(2048)年には 1 億人を割って 9,913 万人となり、平成 72(2060)年には 8,674 万人になるものと推計される(ただし、出生中位(死亡中位)推計による。以下同様)。したがって、平成 72(2060)年までの 50 年間で、人口は 4,132 万人(当初人口の 32.3%)の減少が見込まれる。(p.1)

・同推計期間に、年少人口(0-14 歳人口)は当初の 1,684 万人から 791 万人へと 893 万人(当初人口の 53.0%)の減少、生産年齢人口(15-64 歳人口)は 8,173 万人から 4,418 万人へと 3,755 万人(同 45.9%)の減少が見込まれる。これに対し老年人口(65 歳以上人口)は 2,948 万人から 3,464 万人へと 516 万人(同 17.5%)増加する。(p.2~3)

2 人口高齢化が進行し、平成 72(2060)年の 65 歳以上人口割合は 39.9%

・同推計期間に、年少人口割合は当初の 13.1%から 9.1%へと 4.0 ポイントの減少、生産年齢人口割合は 63.8%から 50.9%へと 12.9 ポイントの減少が見込まれる。これに対し老年人口割合は 23.0%から一貫して上昇し、平成 72(2060)年には 39.9%へと 16.9 ポイント増加する。(p.2~3)

3 長期仮定、合計特殊出生率は 1.35、平均寿命は男性 84.19 年、女性 90.93 年

・推計の前提となる合計特殊出生率は、平成 22(2010)年 1.39 から途中平成 36(2024)年に最低値 1.33 を経て、長期的には 1.35 に収束する。平均寿命は、平成 22(2010)年男性 79.64 年、女性 86.39 年から伸長し、平成 72(2060)年に男性 84.19 年、女性 90.93 年に到達する。(p.7~9)

日本の将来推計人口 (平成24年1月推計)

—— 平成23(2011)年～平成72(2060)年 ——
附：参考推計 平成73(2061)年～平成122(2110)年

I 日本の将来推計人口について

II 推計結果の概要

〔出生3仮定（死亡中位仮定）の推計結果〕

1. 総人口の推移
2. 年齢3区分別人口規模、および構成の推移
3. 従属人口指数の推移
4. 人口ピラミッドの変化

〔出生中位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕

1. 死亡高位仮定による推計結果の概要
2. 死亡低位仮定による推計結果の概要

〔出生高位・低位仮定（死亡高位・低位仮定）の推計結果〕

III 推計方法の概要

1. 基準人口
2. 出生率、および出生性比の仮定
3. 生残率の仮定（将来生命表）
4. 国際人口移動率（数）の仮定

《結果および仮定の要約》

《出生3仮定（死亡中位）推計結果》

《出生中位（死亡高位・低位）推計結果》

《各種推計結果比較》

《仮定値》

《参考推計結果》

日本の将来推計人口（平成24年1月推計）
《結果および仮定の要約》

推計結果の要約（死亡中位推計）

出生率仮定 [長期の合計特殊出生率]		中位仮定 [1.35]	高位仮定 [1.60]	低位仮定 [1.12]	平成18年12月推計 中位仮定 [1.26]
死亡率仮定 [長期の平均寿命]		死亡中位仮定 [男=84.19年] [女=90.93年]			男=83.67年 女=90.34年
総人口	平成22(2010)年	12,806万人 ↓	12,806万人 ↓	12,806万人 ↓	12,718万人 ↓
	平成42(2030)年	11,662万人 ↓	11,924万人 ↓	11,417万人 ↓	11,522万人 ↓
	平成67(2055)年	9,193万人	9,880万人	8,593万人	8,993万人
	平成72(2060)年	8,674万人	9,460万人	7,997万人	
年少（0～14歳）人口	平成22(2010)年	1,684万人 13.1% ↓	1,684万人 13.1% ↓	1,684万人 13.1% ↓	1,648万人 13.0% ↓
	平成42(2030)年	1,204万人 10.3% ↓	1,432万人 12.0% ↓	999万人 8.7% ↓	1,115万人 9.7% ↓
	平成67(2055)年	861万人 9.4%	1,140万人 11.5%	638万人 7.4%	752万人 8.4%
	平成72(2060)年	791万人 9.1%	1,087万人 11.5%	562万人 7.0%	
生産年齢（15～64歳）人口	平成22(2010)年	8,173万人 63.8% ↓	8,173万人 63.8% ↓	8,173万人 63.8% ↓	8,128万人 63.9% ↓
	平成42(2030)年	6,773万人 58.1% ↓	6,807万人 57.1% ↓	6,733万人 59.0% ↓	6,740万人 58.5% ↓
	平成67(2055)年	4,706万人 51.2%	5,114万人 51.8%	4,330万人 50.4%	4,595万人 51.1%
	平成72(2060)年	4,418万人 50.9%	4,909万人 51.9%	3,971万人 49.7%	
老年（65歳以上）人口	平成22(2010)年	2,948万人 23.0% ↓	2,948万人 23.0% ↓	2,948万人 23.0% ↓	2,941万人 23.1% ↓
	平成42(2030)年	3,685万人 31.6% ↓	3,685万人 30.9% ↓	3,685万人 32.3% ↓	3,667万人 31.8% ↓
	平成67(2055)年	3,626万人 39.4%	3,626万人 36.7%	3,626万人 42.2%	3,646万人 40.5%
	平成72(2060)年	3,464万人 39.9%	3,464万人 36.6%	3,464万人 43.3%	